



インターネットでの情報提供	
提供予定日	2月 14日(日)

平成22年 2月 2日(火) 県政記者クラブ配布資料		
担 当 課	担 当	電 話 番 号
観光・ブランド振興課	観光・ブランド戦略担当 千田 友清	直通 058-272-8396 内線 3075

平成21年度「岐阜の宝もの」と「明日の宝もの」が決定されました

県では県民の皆さまの幅広い意見を踏まえ、ふるさとの誇りとなる地域資源を掘りおこし、磨きをかけ、地域の魅力を高める「飛騨・美濃じまん運動～岐阜の宝もの認定プロジェクト～」を進めているところです。

このたび、2月1日(月)に開催されました「岐阜の宝もの」認定委員会において、今後の岐阜県観光の振興につながる平成21年度「岐阜の宝もの」と、これに次ぐ「明日の宝もの」が決定されたのでお知らせします。

今回の「岐阜の宝もの」等は、多くの皆さんからいただいた「飛騨・美濃じまん」を基に、平成20年3月と8月に選ばれた「じまんの原石」「明日の宝もの」と、平成21年8月に選ばれた新たな「じまんの原石」の中から選ばれたものです。

決定した「岐阜の宝もの」等は、2月13日(土)に岐阜市内で開催された「飛騨・美濃じまんミーティング～岐阜の宝もの認定式～」において認定され、知事から関係者に認定証が授与されました。

記

1 平成21年度「岐阜の宝もの」

(1) 乗鞍山麓五色ヶ原の森(高山市)

【認定理由】

- ①「日本最後の中間山地地帯の貴重な自然景観」とも賞される広大な森林地帯には、乗鞍岳を源とする多くの溪流と滝、池、湿原、さらには多種多様な動植物が生息しており、食や事前講習などの各種体験プログラムなどを充実させることで、「自然にやさしい」「からだにやさしい」「こころにやさしい」岐阜県らしい新しい旅(ぎふウェルネス・ツーリズム)を提供することができる。[認定基準①②]
- ②高山市による施設整備やガイドツアーを継続的に実施していく体制が確立されている。
[認定基準②⑤]
- ③季節により表情を変える2つのコースは何度も訪れる楽しさに満ちたコース設定であり、宿泊を伴う体験型プログラム、環境学習プログラムを数多く提供できる可能性がある。
[認定基準③]
- ④本格的な自然体験型の資源でありながら、比較的交通の便が良く、「高山」や「奥飛騨温泉郷」はもちろんのこと、「小坂の滝めぐり」や「天生県立自然公園と三湿原回廊」などとの連携により、飛騨地域の自然をまるごと体験するためのハブとしてさらに磨きをかけることができる。[認定基準④⑥]

(2) 東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋(中津川市、恵那市、瑞浪市)

【認定理由】

- ①「かぶく(傾く)」、歌舞伎の語源とも言われるこの言葉どおり、約300年にも及ぶ東濃地方の地歌舞伎の歴史は、“ただものではない”地域の人々の情熱と努力により現代に受け継がれてきており、観客を魅了する舞台や芝居小屋は、建築、民俗、芸能など多岐な視点からの観光客をも引き付ける魅力を持っている。[認定基準②⑤]
- ②県内では、全国最多の27の歌舞伎保存会が活動しており、うち半数以上が東濃地方に集中している。これらの保存会がこれまでの歌舞伎の保存継承から観光に目を向けたことにより、地歌舞伎公演だけでなく、地歌舞伎を構成する要素(役者、台詞、所作、衣装、大道具、小道具、義太夫、芝居小屋、観劇マナー等)を体験型プログラムとして提供することができ、観光客に「もっと知りたい、もっと感動したい」と思わせる新しいタイプの観光資源となる可能性がある。[認定基準①③⑤]
- ③芝居小屋は三市に点在しており、自動車での移動が必要となるが、芝居小屋が建つロケーションは素晴らしく、また、東濃地方に多くの地歌舞伎が残される重要な要素となった中山道や幕府直轄地(天領)としての資源が随所に残されており、道中の観光資源と結びつけることにより、小屋を巡る楽しみが増すことになる。[認定基準④⑥]

2 平成21年度「明日の宝もの」

他の観光資源との組み合わせや物語性を付加するブラッシュアップの取り組みが行われれば、「岐阜の宝もの」と成り得る可能性のあるものを「明日の宝もの」とする

(1) 美濃白川四季彩街道(白川町)

【ブラッシュアップの視点】

町を南北に貫く国道41号を単なる移動手段としての道から、道からの景色、町の文化、歴史や自然をも活かした地域づくりにつなげようと、「美濃白川の景観を守る会」を中心に年間20回以上の清掃・除草活動や、これまでバラバラのコンセプトで実施してきたイベントを「四季彩街道 春の味覚・秋の味覚フェスタ」に統一して実施するなど、日本風景街道の正式認定を契機として様々な取組を展開している。

「美濃白川四季彩街道」というネーミングと、白川町における様々な活動がしっかりとリンクされれば、白川町を起点に、コンセプトである「スロードライブ・スローライフ・スローフード」をキーワードに下呂温泉や高山、中山道太田宿や八百津のおやつなどとの地域連携により線から面への観光エリアを作り上げることができる。

(2) 天生県立自然公園と三湿原回廊(飛騨市)

【ブラッシュアップの視点】

天生県立自然公園は、「小坂の滝めぐり」「乗鞍山麓五色ヶ原の森」に勝るとも劣らない圧倒的な自然を体感できる資源である。また、ガイドやインタープリターの技術も秀でている。

隣接する白川郷や、包含する三湿原回廊の一つ天生湿原と他の二つの湿原との回遊性やガイド体制の一体化、さらには、じまんの原石である種蔵地域などの食、体験プログラムなどの要素が加われば、日本を代表するウェルネス・ツーリズムのメッカとしてさらに磨きをかけ、宝ものを視野に入れた取組が期待できる。

3 「岐阜の宝もの」認定委員会

(会長) 須田 寛^{すだ ひろし} 飛騨・美濃の観光を考える委員会会長/東海旅客鉄道(株)相談役

(副会長) 尾関尚司^{おせき しょうじ} (社)岐阜県観光連盟会長/濃飛倉庫運輸(株)代表取締役会長

(専門委員・主な専門分野)

信田哲彦^{のぶ たてつひこ} (株)ナレッジデザイン代表取締役 (マーケティング、情報通信)

甲賀雅章^{こうが まさあき} (株)シーアイセンター代表取締役 (デザイン、まちづくり)

平野宏司^{ひらの こうじ} (学)平野学園教育企画ディレクター (デザイン、ふるさと教育)

4 平成21年度「岐阜の宝もの(じまんの原石)」認定の流れ 別紙1のとおり

5 岐阜の宝もの(じまんの原石)認定基準

- ① 今までにない新しいタイプの観光資源としての魅力があるか。
- ② 長期間にわたり魅力を発することができる永続性を有し、岐阜県ならではのオリジナリティがあるか。
- ③ リピーター確保につながる「もっと知りたい、もっと感動したい」と思わせる内容であり、優位性があるか。
- ④ 他の観光資源との連携の可能性があるか。
- ⑤ 現地スタッフや関係者による継続的な受入体制やヤル気があるか。
- ⑥ 交通アクセスが確保されているか。

6 参考

(1) じまんの原石一覧

【平成20年3月選定】

<p>【岐阜圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●川原町界隈(岐阜公園周辺地域) ★ ●美濃竹鼻まつり・ふじまつり ●各務原キムチでまちおこし ●伊自良連柿・富有柿・おふくろ柿 ●木曾川凧揚げ大会と木曾川エリア <p>【西濃圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペーめん ●谷汲門前町 ●中山道赤坂宿★/木柁 ●「おちよぼさん」門前町 ●徳山ダム ●薬草 <p>【中濃圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●八百津のおやつ ★ ●郡上鮎 ★ ●食品サンプル 	<ul style="list-style-type: none"> ●神と仏の里いとしろ ●美濃白川四季彩街道 ★ <p>【東濃圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美濃焼と日本酒の融合「美濃陶酔」 ●土岐市の窯元めぐり ●中津川の栗さんとん ●馬籠宿 中山道 ★ ●岩村城跡と岩村城下町/ 温故知新 大正百年の誘い <p>【飛騨圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと体験飛騨高山 ●棚田と板倉の風景と山里文化 ●三湿原回廊 ★ (天生湿原、池ヶ原湿原、深洞湿原) ●鶏ちゃん ●小坂の滝めぐり ★★ ●龍の瞳
<p>★明日の宝もの ★★岐阜の宝もの</p>	

【平成21年8月選定】

<p>【岐阜圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●羽島市歴史民俗資料館・羽島市映画資料館 ●中山道4宿(鵜沼宿、加納宿、河渡宿、美江寺宿) <p>【西濃圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大垣の湧水、地下水 ●水まんじゅう(各和菓子店の店先で販売している 風情ある情景) ●水屋群などの風景と輪中文化 ●住吉燈台・船町港・赤坂港(川港) ●養老鉄道 <p>【中濃圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中山道と太田宿・伏見宿・御嶽宿 	<ul style="list-style-type: none"> ●フィールドミュージアムで魅力あるまちへ ●まちの名物つるむらさきうどん <p>【東濃圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●笠原のタイル ●美濃焼窯場めぐり ●山岡細寒天/恵那山麓 寒天豚 ●東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋 ★★ <p>【飛騨圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東山寺町と文化財めぐり ●乗鞍山麓五色ヶ原の森 ★★ ●天生県立自然公園 ★
--	---

(2) 第3回飛騨・美濃じまんミーティング開催概要

○日 時 平成22年2月13日(土) 開始13:30 終了16:00(展示PR:16:30終了)

○場 所 じゅうろくプラザ ホール(岐阜市橋本町1-10-11)

○内 容

(1)「じまんの原石」調査結果報告及び魅力向上に向けた提案

岐阜の宝もの認定委員会専門委員から観光資源の調査結果報告と、今後の取組へのアドバイスを行います。

【休憩 14:45~14:55(予定)】

(2)「明日の宝もの」「岐阜の宝もの」の発表・認定証授与

飛騨・美濃観光大使でタレントの熊田曜子さんにお手伝いをいただき、宝ものの発表と認定証の授与を行います。

(3) 飛騨・美濃観光大使トークショー

観光大使と知事とのトークショーを行います。

■テーマ : 私が見つけた岐阜の宝もの(仮題)

(4)「じまんの原石」展示PR

ホールホワイエにおいて、「じまんの原石」の展示PRを行います。